

0-2の4-9の時のスコアは覚えていないです…

ミキハウス

J-A全農2014世界選手権東京大会で、女子日本代表チームは銀メダルを獲得した。だが、そこまでの道程は険しいものだった。

準決勝の中国香港戦は、観衆を感じ込める内容であった。中でも3番に出場した平野早矢香のプレーは、56年東京大会の田中一ガントナー戦同様に今後も語り継がれていくだろう。

平野は、第1、2ゲームともに、自分の流れで試合を進めたが、連取される。「こうなると第3ゲームの流れは相手に傾く」。

第3ゲームは、前半からリードを許し、4-9と不利な状況に追い込まれ、会場の誰もが平野の敗戦を予想した。

試合後、スコアはまったく覚えていなかったという。とにかく自分のできる限り、絶対に諦めてはいけない、という気持ちでプレーしました」と語る。

0-2の4-9から大逆転。日本の決勝進出の立役者となた。

——世界選手権の代表には、まず選考会からになりますね。

平野 3番の石垣選手とともに、自分は前半からリードを許し、4-9と不利な状況に追い込まれ、会場の誰もが平野の敗戦を予想した。

試合後、スコアはまったく覚えていませんでした。

——内容は完璧だったと思います。

平野 パブロ・ヴィッチ選手とは最近試合をしていなかつたのですが、昔のイメージがあり、最後に対戦した時も、私が勝つて終わっていたので、相手は攻撃的になるだろうなと思っていた。

自分のプレーが思ったよりもよく、相手を見ることができたので、落ち着いてプレーすることができました。

——チャイニーズスタイル戦は、自分がどこに出てきても良いように、イメージして準備してきたことも良かったと思います。

平野 予選リーグの山場だったと思います。タイペイ戦まで1本も落としているなかつたので、みんな調子が良く、見てくるところもできていたので、落ち着いてプレーすることができました。

——決勝トーナメント2回戦はオランダとなりました。相手はオーダーを変えました。組み合わせが決まった時に、相手がどこに出てきても良いように、イメージして準備してきたことは良かったと思います。

平野 自分のイメージと違うオーダーだったので、正直びっくりしました。

いろいろ動揺することはあったのですか? 仕方ない、と思って試合に臨みました。

——3番の石垣選手の試合を見ていました。

平野 これまでのチームの勝ち上がりも良かったし、自分のやることをして、負けたら仕方ない、と思って試合に臨みました。

——3番の石垣選手の試合を見ていました。

平野 4番の試合に備え、アップしなが

選考会に向けて練習をやりこん

でいたので、優勝狙うつもりでやっていました。最終戦まで何回か負けましたが、最終戦に勝てば代表になれる

というところにいました。今振り返ると、最終戦は少し意識してしまったか

もかもしれません。

——その後の全日本選手権では、シン

グルスはベスト8に終わり、その前年の全日本は初戦敗退だったと思います

が。試合は2試合目の狹間選手(十六銀行)と接戦になりました。苦しかったです。

——全日本を振り返ると……。

平野 シングルスだけ見れば満足はしていました。しかし、前回は初戦負けだったので、少しばかり立直すことができ、課題も見つけることができました。ダブルスは優勝することができたので、そこは良かったと思います。

——全日本選手権が終わり、自力で代表権を獲得することができませんでした。

平野 自分自身で代表権を勝ち取ることができませんでしたので、選ばれるという確信はありませんでした。チーム

——世界選手権までに、ワールドツ

アードがありますが、調子は、

いいままでは不安でした。

——世界選手権までに、ワールドツ

アードがありますが、調子は、

いいままでは不安でした。

——5番の石川選手の試合は、

平野 総合的に見て、石川選手の方が力は上だと思いました。

ただ5番という場面で冷静にプレーするのは凄く難しいと思います。幸先よく2-0とリードしましたが、そこから相手が思い切ったプレーをするようになりました。5ゲーム目も相手がリードしました。でもそこから石川選手は挽回しました。凄いことだと思います。

——次の香港戦は、3番に出席。試合は0-2の4-9まで追い詰められ、そこから逆転勝利。試合後、点数は覚えていながら、と言つていましたが

平野 吳選手とはこれまで何度も対戦していて、私のボールにタイミングが合ったのだと思うのですが、3連敗しています。今回も当たるのがわかつてたので、今までの戦い方ではダメだと思つていきました。

試合の入り方とか、サービスを変えたりして試合に臨みました。ただ実際点数が取れていただけだったので、苦しい内容でした。1、2ゲーム目はリードしていましたのに落としてしまいました。

——流れ的には最悪と言つてもいいかも知れませんね。

平野 そうですね。3-0で負けるバーンだったと思います。

——3ゲーム目は良い流れだったにも関わらずモノにすることができないつたので、3ゲーム目はあのように足になってしまいました。凄く苦しい状

に必要とされれば選ば

れるだろうし、必要でないなら選ばれないだろう、と思つ

ていました。

——結果は監督推薦で選ばれまし

た。そして今回は平野さんが年長者

ということになりましたが。

平野 最初は、私と福原選手、石川選手に初出場の田代選手、そして森選手の5名でした。ロンドン、五輪メンバーは団体戦慣れしていると思っていたので、自分たちのペースで調整できるな、と思ついました。そういうことで初出場の2人が緊張しないで、自分たちの力が發揮できるように、良い雰囲気で練習できればいいな、と気を配りました。

——世界選手権までに、ワールドツ

アードがありますが、調子は、

良かつた。ただし、波が大きかった。結果も内容も満足のいいものではなく、良い試合と悪い試合の内容の差が大きくて不安がありました。

——トップ12が終わって、用具を変えた。トップ12が終わって、用具を変えた。トップ12が終わって、用具を変えた。

平野 私のプレースタイルには、「回転」という要素が必要で、以前から重要視していました。

——トップ12が終わって、用具を変えた。トップ12が終わって、用具を変えた。

平野 個人的には、自分の中で団体戦は3位が最高の成績だったので、今回は、決勝で中国と対戦したい、と思っています。

——決勝の中国戦は、

平野 3番で劉詩雯選手と対戦しました。色々なイメージを持って試合に臨んでいますが、劉選手の出来がよく、一方的な試合になつてしましました。

個人的には、自分の中で団体戦は3位が最高の成績だったので、今回は、決勝で中国と対戦したい、と思っています。

——決勝の中国戦は、

平野 3番で劉詩雯選手と対戦しました。色々なイメージを持って試合に臨んでいますが、劉選手の出来がよく、一方的な試合になつてしましました。

個人的には、自分の中で団体戦は3位が最高の成績だったので、今回は、決勝で中国と対戦したい、と思っています。

——31年ぶりの銀メダル獲得の気持ちは、これまで2回地元の世界選手権を経験しているのですが、どれも完全燃焼の内容でした。そういう意味では、私も含めてチーム全員が力を出し切ることができたし、5人全員が自分が役割を発揮して終わった大会は、自分がはじめてではないかな、と感じました。

——31年ぶりの銀メダル獲得の気持ちは、これまで2回地元の世界選手権を経験しているのですが、どれも完全燃焼の内容でした。そういう意味では、私も含めてチーム全員が力を出し切ることができたし、5人全員が自分が役割を発揮して終わった大会は、自分がはじめてではないかな、と感じました。

——周囲からは、精神面が強いと言われていますが、自分

——周囲からは、精神面が強いと言つていますが、自分

——周囲からは、精神面が強いと言つていますが、自分

——周囲からは、精神面が強いと言つていますが、自分



——初戦のペラルーシ戦はトップスبيدグルーがなくなり、なかなか

納得のいくラバーがなかったのが本音です。そして今回、指導してもらつて、実際に変えようという話になりました。実際変えたら、練習では凄くカールズはベスト8に終わり、その前年の全日本は初戦敗退だったと思います

が。その後の全日本選手権では、シン

グルスはベスト8に終わり、その前年の全日本は初戦敗退だったと思います

が。その後の全日本選手権では、シン